

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人法人ヒューマンシップコミュニティ

事業名	ケアする人をケアする場所づくり事業
助成枠の種類	特定分野事業ネーミング枠 (浦和競馬SDGsプロジェクト～ジェンダー平等推進支援事業～)
1. 事業の目的	<p>コロナ禍で疲弊する介護・医療職、自宅で介護する家族、ヤングケアラーなどのホッとする心・体の休まる場所づくりを通して、心身の健康をサポートする。県内の数か所で実施。</p> <p>○在宅介護においても、コロナによる閉じこもりの影響で認知症・フレイルの進行がみられ家族の介護負担が増えている。</p> <p>○ヤングケアラーを含め介護する家族が、要介護者とともに出かけ、安心して休める場所が少ない。</p> <p>○特にヤングケアラーは相談する場所もわからず、孤立していることが多い。ヤングケアラーも女性が多い。</p>
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>①いまだに、介護・医療の担い手は臨床においても、在宅においても女性が圧倒的に多く、負担がかかっている。その女性たちにとって気兼ねなく心身をケアする場所は少ない。</p> <p>②介護・医療職、介護する家族、ヤングケアラーへの癒しの場が少ない。地域の方々に介護・医療を女性男性関係なく自分事として実感し、行動へ移すための啓蒙活動は少ない。</p> <p>③これからの高齢化は、一部の人への負担ではなく地域一体となって取り組まなくてはならない。</p>
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>(1)カフェ・マルシェ・ワークショップ（同時開催）</p> <p>介護・医療職、介護する家族、地域の交流の場。介護・健康の相談の場</p> <p>医療介護に携わる方々の癒しの場、交流の場を提供することができた。医療介護職の方たちにマルシェ、ワークショップを担当していただき自身の活躍の場・地域との交流の場を提供することができた。</p> <p>○11/21 カフェ&マルシェ（和光市のカフェをお借りして実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ：コーヒー上福岡のカフェの店長が提供 薬膳茶現役薬剤師が提供 パン屋によるパン、ラスクの販売 ・ワークショップ：プロによるフットケア 看護師によるサンゴで作る箸置き造り

・マルシェ：介護福祉士による手作り雑貨 ケアマネジャーによる
手作りアクセサリー 看護師イラストポストカード ミサンガ 手
作り野菜

ボランティアによるギター・ピアノ演奏

○2/6 ※中止（上尾原市団地の一角をお借りして実施予定だったカ
フェ・ワークショップ）

車いすシーティングの体験 パラスポーツの体験会（ボッチャ・モ
ルック）

○2/27 カフェ&マルシェ（川越の酒屋の一角をお借りして実施）

・カフェ：コーヒー・紅茶上福岡のカフェの店長が提供 パン屋によ
る食パン・コッペパン販売

・マルシェ：看護師によるイラストポストカード

・ワークショップ：看護師によるハーバリウム体験、プロによるフッ
トケア 介護食・介護食器の体験、ボランティアによるギター演奏

(2) 講演会

医療介護の専門家ばかりでなく、一般の方にもわかりやすい講演会
を開くことができた。特に介護を担っている方たちの後押しをする
講演会を開くことができた。

○10/24 講演会（オンラインのみ）

歯周病はじめ口腔内の健康が認知症に与える影響についての講演会

○12/19 講演会（会場とオンライン）

高齢者住宅の種別など基本的なところから、入居に際し選ぶ上での
ポイント、また就職先として、逆に選ばれる側としての施設を見る
ポイントをわかりやすく解説

○2/20 講演会（オンラインのみ）

自身もヤングケアラーだった若い時の両親の介護体験談。ヤングケ
アラーだからこそその問題点、解決に向けた提言など。

○2/27 講演会（カフェ会場とオンライン）

嚥下障害のある方への食支援、口腔ケアの仕方など具体的に解説。
その後ワークショップとして嚥下食の体験・介護食器の体験を実施

時期	内容
7月	
8月	
9月	
10月24日 参加約30名	歯周病と認知症講演会 歯科医師池川先生 (オンライン)

	1月21日 参加約20名	第1回カフェ&マルシェ (和光市カフェアルコイリス)
	1月19日 会場16名 オンライン20名	高齢者住宅の選び方講演会 NPO 代表雲井氏 (会場&オンライン)
	1月	
	2月6日 2月20日 オンライン約50名 2月27日 会場約20名 オンライン約20名	・カフェ&マルシェ 上尾(中止) ・ヤングケアラー講演会 フリーアナウンサー町さん(オンライン) ・第2回カフェ&マルシェ (会場&オンライン) 川越角屋酒屋 嚙下講演会 歯科医師澁谷先生
	○広報実績について コミュニティFMのFMチャッピー、FMナナコでの告知 フェイスブック、ホームページを通じての広報 商店、福祉専門学校での掲示、チラシ配布、その場での告知も実施 医療職、介護職員へ個別に宣伝	
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容	講演会においては、介護福祉関連の内容で実施。 聴く機会の少ない、それでいて身近な問題を取り上げ好評。 カフェ&マルシェでは、「ケアする人をケアする」の目的の元、日ごろの疲れを癒す場所を提供することができた。ワークショップ・マルシェでは医療・介護系で働く女性を中心に仕事とは別に自分らしく活躍する場を提供することができた。	
5. 費用面での工夫	会場はWi-Fi 利用できる場所を選びWi-Fi レンタル代を削減 PCソフトは無料版を使用し経費削減 会場を早めに申し込むことにより早割りを活用 ネットを活用。比較をすることにより安価なものを購入	
6. 地域社会への還元について	カフェ&マルシェでは、商店(または、一部)を借り商店とともに活動を実施(カフェと酒屋をお借りした)。商店に活気を生み、交流の場とすることができた。 カフェ店やパン屋、マッサージ店と協働。地域の方々にも活躍していただいた。 2月上旬開催予定だったカフェ&マルシェでは上尾市の原市団地と共同開催の予定だった。コロナの影響で中止。地域と共に開催予定だっただけに悔やまれる。	

<p>7. 来年度以降 どう事業を継 続し発展させ ていくか</p>	<p>講演会は、豊富な人材のネットワークを生かし今後も地域社会に必要な講演会を実施予定。</p> <p>カフェ&マルシェもコロナの影響を鑑み実施予定。</p> <p>まずは、予定していた上尾の原市団地での開催をしたい。</p> <p>今回の培うことができたつながりを基に更なる発展をしていきたい。今回のイベントをフェイスブックやホームページで知り参加を表明してくださった方も複数いらっしまった。コロナ禍で過密を避けたが、コロナ後は多くの人に協力をしていただき、地域の方々にも多く来ていただきたい。</p> <p>また今期の助成金を活用させていただきイベントを実施したことにより、次なるステップへの下地ができた。</p>
--	---